

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	313	施策	介護保険制度の安定的運営
管理事業	介護保険サービス整備等事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護保険サービス利用者負担軽減事業
事業概要				
居宅サービスに係る利用者負担額の助成 訪問介護利用者に対する利用者負担額軽減措置 社会福祉法人等による利用料負担の軽減措置に伴う助成				
活動実績				
(1)居宅サービスに係る利用者負担額の助成		年度	令和2年度	評価の視点
・助成件数 平成30年度 14件 令和元年度 10件 令和2年度 13件 ・助成額 平成30年度 316,879円 令和元年度 330,034円 令和2年度 336,581円		決算額 (千円)	1,061	
		一般財源の比率 (%)	48.9	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
(2)社会福祉法人等による利用料負担の軽減措置に伴う助成		(1)利用者負担の重さがサービス利用控えにつながることはないよう、低所得者対策として本事業は継続していく必要がある。		
実施申し出法人数 各年度 11法人(吹田市内の28法人中) ・助成法人数(他市の法人を含む) 平成30年度 2件 令和元年度 1件 令和2年度 6件 ・助成額 平成30年度 103,619円 令和元年度 194,026円 令和2年度 721,494円		(2)対象となる全施設での実施となっておらず、申請を促したが申請がなかった。低所得者対策として、未申請施設には引き続き申請を促す必要がある。		
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				

2	所管室課	高齢福祉室	事業名	介護保険施設管理事業
事業概要				
介護保険施設管理(指定管理者施設管理)				
活動実績				
市立の老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、吹田市介護老人保健施設において、指定管理者制度(利用料金制度)のもと、大規模な修繕と工事等の維持管理業務を実施。		年度	令和2年度	評価の視点
・決算内訳 主な項目 合計 95,656千円 吹田市介護老人保健施設 連絡橋撤去工事費 82,148千円 備品購入費 4,808千円 修繕料 4,348千円 委託料 3,862千円 第三者モニタリング委員報酬 1回8,400円*5回*5人 210千円 その他 280千円		決算額 (千円)	95,656	
		一般財源の比率 (%)	98.3	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		維持管理については、施設の経年劣化が激しく、適宜修繕を行っている。中には築49年が経つ施設もあり、修繕等の維持管理費が一定額必要となっている。サービスについては、指定管理期間中の2・4年度に実施する第三者モニタリングにて、学識経験者や税理士等の専門分野の有識者によって、管理運営における実績評価、課題抽出、改善に努める。		
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
適宜修繕を行うとともに、第三者モニタリングにてサービスの改善等に努める。				

3	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者施策推進事業
事業概要				
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定、介護人材確保				
活動実績				
【介護支援専門員資質向上研修実施による拡充】		年度	令和2年度	評価の視点
(1)高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定		決算額 (千円)	184,708	
・社会福祉審議会高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進専門分科会会議 4回開催 ・計画策定支援業務委託料 5,995千円 (2)介護人材確保 ・介護資格取得支援 受講者延べ35名(介護職員初任者研修13名、介護福祉士実務者研修22名)、1,616千円 ・介護職員等喀痰吸引等研修(実地研修)委託 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため不実施 ・主任介護支援専門員資質向上研修 業務委託料 109千円 ・面接会の実施 ハローワークとの共催 1回(参加企業9社、参加者16名、就職者1名) ※新型コロナウイルス感染症拡大のため1回不実施 ・セミナーの実施 JOBナビすいた(地域経済振興室)との共催 1回(参加者12名) (3)新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン ・介護サービス事業所等に対するサービス継続支援 補助額 62,389千円(35事業所) ・高齢者在宅ケア継続支援 補助金 50千円(1法人)		一般財源の比率 (%)	12.5	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
		(1)令和7年(2025年)、令和22年(2040年)を視野に入れた地域包括ケアシステム構築のため、ロードマップに沿った進捗管理が必要。		
		(2)介護業界全体の課題となっている人材不足の解消に向けて、より一層効果的な取組が求められている。		
		(3)新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた介護サービス事業所等を支援するため、緊急対策アクションプランを実施した。		
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				
福祉の現場を支える施策が効果的なものとなるよう取り組む。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	313	施策	介護保険制度の安定的運営
管理事業	介護保険サービス整備等事業		所管部局 福祉部

4	所管室課	高齢福祉室	事業名	高齢者福祉施設補助事業
事業概要				
老人福祉施設建設費借入利子補給、地域密着型サービス整備補助、軽費老人ホーム事務費補助、認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援				
活動実績				
【軽費老人ホーム事務費補助実施による拡充】				
(繰越分) 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援補助額 非常用ポータブル自家発電設備購入 700千円				
(1)老人福祉施設建設費借入利子補給(令和2年度で事業終了) ・補助額 128千円(1法人)				
(2)地域密着型サービス整備補助 ・選定 1法人、2事業(小規模特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム)				
(3)軽費老人ホーム事務費補助(中核市移行による権限移譲) ・補助額 64,834千円(3法人)				
(4)認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援 ・補助額 非常用ポータブル自家発電設備購入 4,126千円(1法人、2事業所)				
(5)新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプラン ・高齢者福祉施設オンライン面会支援 補助金673千円(19法人、25事業所)(令和2年度で事業終了)				
・高齢福祉施設PCR検査等費用補助 補助金4,692千円(15法人)				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	115,787	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源の比率(%)	58.5	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		(2)第7期計画(平成30年度(2018年度)~令和2年度(2020年度))においては、地域密着型サービスが、計画上必要とする整備数に達することができなかった。第8期計画(令和3年度(2021年度)~令和5年度(2023年度))においては、介護保険制度の安定的運営を図るため、市有地等の公有地の活用等により必要整備数の達成に向けて取組を行う。		継続
				計画上必要とする整備ができるよう取組を進めていく。

5	所管室課	高齢福祉室	事業名	老人福祉施設整備費積立事業
事業概要				
老人福祉施設整備基金積立				
活動実績				
老人福祉施設の整備促進を目的とした、社会福祉法人等への補助金の財源に充てる。				
・実績額 預金利子 2,330円 ・令和2年度末基金積立残額 233,784,029円				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)	2	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源の比率(%)	0.0	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容
		今後の市内における高齢者の動態等を見極つつ、基金を有効に活用していくことが課題。		継続
				有効的な基金の活用方法について検討していく。

	所管室課		事業名	
事業概要				
活動実績				
		年度	令和2年度	評価の視点
		決算額(千円)		※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源の比率(%)		<input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容

### 上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名